

17 教 育

「学都松本」

「学都松本」の推進について

教育委員会は、平成 19 年の市制施行 100 周年を機に、先人が築いてきた思いや財産を大切に引き継いでいくため、新たな世紀の目標として「学都松本」の実現を掲げました。「学び」とおして「いのち」と「暮らし」を大切に考え、誰もが生きいきと暮らしていける「まち」をめざし、各種事業を推進しています。

「学都」としてめざすまちの姿

- 1 子どもからお年寄りまでが、生涯にわたって学ぶことができる環境が整い、市民一人ひとりが自らの意思で何を学ぶかを決め、学び続けるまち
- 2 市民一人ひとりの学びを地域や行政が協働してサポートし、「共に学ぶまちづくり」を推進するまち
- 3 市民一人ひとりが学んだ知識・技術を社会に生かして、次代に引き継ぐまち

学 校 教 育

1 市立学校

(平成 29 年 5 月 1 日現在)

区 分	校 数	在 籍 者 数
小 学 校	28 校(30 校)	12,585 人(12,602 人)
中 学 校	19 校(22 校)	5,920 人(5,941 人)
組 合 立 中 学 校	1 校	478 人

(注) ()は、分校を含む

2 市立以外の学校

(平成 29 年 5 月 1 日現在)

区 分	校 数	在 籍 者 数
小 学 校	国 立	1 校 420 人
	私 立	1 校 290 人
中 学 校	国 立	1 校 476 人
	私 立	1 校 133 人
中 等 教 育 学 校	私 立	1 校 480 人
盲 学 校	県 立	1 校 32 人
ろ う 学 校	県 立	1 校 37 人

養 護 学 校	県 立	1 校	325 人
寿 台 養 護 学 校	県 立	1 校	37 人
高 等 学 校	県 立	7 校(1)〔1〕	4,841 人(404)〔976〕
	私 立	5 校〔2〕	2,893 人〔464〕
短 期 大 学	私 立	2 校	938 人
大 学	国 立	1 校	3,841 人(教養部除く)
	私 立	1 校	1,519 人

(注)()内は定時制
〔 〕内は通信制

3 児童・生徒数等の推移

(各年5月1日現在)

区分 年度	小 学 校			中 学 校		
	校 数	児童数	教員数	校 数	生徒数	教員数
27	28(30)	12,707 (12,725)	778 (782)	19(22)	6,327 (6,349)	518 (533)
28	28(30)	12,717 (12,734)	776 (780)	19(22)	6,106 (6,130)	491 (506)
29	28(30)	12,585 (12,602)	774 (778)	19(22)	5,920 (5,941)	472 (483)

(注)()は、分校を含む

4 学校施設整備事業

事業目的

老朽化した施設設備の大規模改造事業、施設の延命を図る長寿命化改良事業、地球環境温暖化対策と環境教育の一環としての太陽光発電設備設置事業、地震時の安全確保と避難施設としての機能を果たすための地震防災緊急事業など、施設整備を計画的に進め、教育環境の充実を図ります。

主な事業内容

ア 大規模改造事業

単位:千円

学 校 名	事 業 内 容	事 業 費	着工予定年月	竣工予定年月
芝沢小学校	第2期工事(H26~H29)	262,010	29年5月	30年2月
並柳小学校	第2期工事(H26~H29)	272,238	29年5月	30年1月
波田中学校	第2期工事(H26~H29)	402,060	29年5月	30年2月

イ 長寿命化改良事業

単位:千円

学 校 名	事 業 内 容	事 業 費	着工予定年月	竣工年月
明善中学校	建物劣化度調査	8,840	29年7月	30年1月

ウ プール改修事業

単位：千円

学校名	事業内容	事業費	着工予定年月	竣工予定年月
筑摩野中学校	大プールの改築、構造設計及び工事	191,616	29年7月	30年3月
二子小学校	循環設備更新	23,260	29年10月	30年1月
開明小学校				

エ 学校施設整備事業

単位：千円

学校名	事業内容	事業費	着工予定年月	竣工予定年月
清水小学校	県道拡幅による設計及び工事	54,700	28年12月	29年7月
岡田小学校	測量、不動産鑑定			
高綱中学校	いす式階段昇降機設置工事	4,840	29年5月	29年8月
梓川中学校			30年1月	30年3月

オ 地震防災緊急事業

単位：千円

学校名	事業内容	事業費	着工予定年月	竣工予定年月
小学校 12校	非構造部材の耐震化調査及び実施設計	7,290	29年7月	30年2月
中学校 7校	非構造部材の耐震化調査及び実施設計	4,850	29年7月	30年2月

5 特別支援教育

(平成 29 年 5 月 1 日現在)

区分	知的障害			情緒障害			病 虚 弱			難 聴		
	学校数	学級数	児童生徒数	学校数	学級数	児童生徒数	学校数	学級数	児童生徒数	学校数	学級数	児童生徒数
小学校	25	35	180	26	52	311	1	1	1	1	1	3
中学校	16	20	92	17	24	124	1	1	2	1	1	1
計	41	55	272	43	76	435	2	2	3	2	2	4

6 松本市美ヶ原少年自然の家

位置 松本市大字入山辺 8961 番地 1358
 構造・規模 鉄骨造平屋建〔研修棟 766.29 m²・炊飯棟 80 m²〕
 収容人員 139 名
 開所 平成 9 年 6 月 1 日
 総事業費 213,450 千円

竣工	平成9年3月31日
利用期間	4月25日～10月31日
使用料	大人（高校生以上）の宿泊に限り 720円
利用状況	平成28年度利用人員 2,648名

7 私立学校補助

私立高等学校運営費補助

- ・定額補助 松本市内設置校（6校）1校当たり年額 70万円
- ・生徒数割補助 松本市に住所を有する生徒1人当たり 3,300円
（29年度予算額 11,180千円 対象8校2,114人）

私立学校校舎等建築事業補助金

ア 学校の種類

高等学校、中等教育学校、専修学校（学校法人が設置したものに限る。）

イ 対象経費

校舎及び体育館の新築、増改築事業又は、改修事業に要する経費のうち、土地買収費、教材購入費等を除外した経費。ただし、建築費は100万円以上とします。

ウ 補助額

(ア) 国庫補助ありの場合（国の建築単価×建築面積 - 国・県等補助金）×10%以内

(イ) 国庫補助なしの場合（事業費 - その他特定財源[寄付金除く]）×1/3

(ウ) 限度額

補助金の交付を受ける年度を含め過去5年間に補助金交付を受けていない場合1,000万円

過去5年間に補助金交付を受けている場合は、2,000万円から既に交付を受けた補助金の額を控除した額。ただし、1,000万円を超える場合は、1,000万円とする。

8 不登校児童生徒対策事業

事業目的

不登校や集団不適應の児童生徒・保護者・学校に対して、集団適應指導や教育相談等の不登校支援活動を通して、児童生徒の一人ひとりの自立への援助を行います。

事業内容

ア 山辺（教育文化センター内）、鎌田（鎌田中学校内に併設）、梓川[休室中]（梓川支所西）、波田（波田体育館内）に、計4中間教室を設置

イ 中間教室適應指導員の計9名体制で指導

ウ 学校指導課に不登校支援アドバイザー1名を配置し、学校訪問等を通して、教職員や保護者に対する助言・指導や相談支援を行う。

エ 児童生徒への日常的支援に加え、市の福祉関係機関や関係するNPOとの連携を図るとともに、保護者・学校(教師)に対して講演会や懇談会を実施する。

才 平成28年度 * ()内は、復帰登校・部分登校(重複登校含む)している児童生徒数

	山辺中間教室	鎌田中間教室	あかり教室	計
小学生	3 (2)	2 (2)	1 (0)	6 (4)
中学生	11 (7)	12 (7)	14 (7)	37 (21)
計	14 (9)	14 (9)	15 (7)	43 (25)

9 「自立支援教員・学力向上推進教員」配置事業

事業目的

不登校やいじめ、学習・学級不適応などの児童生徒に、きめ細かな集団適応指導、学習習慣指導を行うことを通して、将来の社会的自立に向けた援助や、学力向上のためのきめ細やかな指導を行い、児童生徒一人ひとりの伸びる力をさらに伸ばしていけるように基礎・基本の定着を図ります。

事業内容

ア 「自立支援教員」計29名

- ・ 小学校13校に13名、中学校16校に17名(含組合立)を配置し、新たな不登校を生まない取組、不登校状態の改善、ひきこもり防止にかかわる指導・援助活動を行う。

イ 「学力向上推進教員」

- ・ 市立(組合立)中学校17校(含組合立)に「学力向上推進教員」を17名配置
- ・ 山間小規模中学校2校に「山間小規模校中学校学力向上推進教員(担当教科:美術・社会)」を各1名配置
- ・ 「学力向上推進教員」配置校・配置教科
 国語(高綱中)
 数学(清水中・松島中・菅野中・筑摩野中・波田中)
 理科(女鳥羽中・明善中・信明中)
 英語(鎌田中・丸ノ内中・旭町中・山辺中・開成中・梓川中・鉢盛中)
 家庭(会田中)

総事業費(29年度予算額)

148,390千円

10 特別支援教育支援員配置事業

目的

障害がある児童生徒の状況に応じた支援を行うとともに、安定した学級運営の維持を目的に、特別支援教育支援員を配置します。

事業内容

- ア 身体に障害があり医療的ケア・介護的ケア・安全確保を要する児童生徒へのケアや、自閉症・情緒障害などの児童生徒への学習・生活支援を目的とする特別支援教育支援員の配置
- イ 日本語を母語としない児童生徒への日本語教育支援員の配置

ウ 該当の学校に配置
総事業費（29年度予算額）
39,020千円

11 A L T (英語指導助手)配置事業

英語を母国語とする英語指導助手（A L T）を各小中学校に配置しています。

小学校では、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、コミュニケーション能力の素地を養うことを目的としています。

中学校では、生きた英語や外国文化・生活に触れる機会を提供し、英語によるコミュニケーション能力の向上を図り、あわせて国際感覚を身に付けた人間性豊かな生徒を育てることを目的としています。

A L Tの主な職務内容

- ア 小学校における外国語活動の補助及び中学校における英語授業の補助
- イ 授業の企画補助及び使用する教材の作成補助・提供
- ウ 学校行事や特別活動等の教育活動における外国語指導及び児童生徒との交流
- エ 教諭等に対する研修の援助及び研究活動に対する助言等

A L Tの人数と受け持ち学校数

- ア 人数 15名（小学校6名、中学校9名[小中併設校含む]）
- イ 学校数 28小学校・20中学校（鉢盛中学校を含む）

12 トライやるエコスクール事業

目的

特色ある学校づくりの一環として、地域の歴史、文化、自然など特色ある素材の活用を図りながら、活力ある学校の創出を目指すとともに、学校教育における環境教育の充実を図ります。

事業内容

- ア 農作物の栽培、動物の飼育、交流学習、読書指導などそれぞれの学校の特色ある取組みを支援します。
- イ 地域の方を指導者として招き、歴史、文化、伝統工芸、福祉、スポーツなどを児童生徒に学ばせ、豊かな変化に富んだ教育活動の創造を図ります。
- ウ 「小中学校環境教育支援事業」を活用し、環境知識、情報の習得などの実践を行います。

総事業費（29年度予算額）

小学校 8,890千円 中学校 10,170千円

13 教育文化センター

位置 松本市大字里山辺 2930 番地 1

構造・規模 鉄筋コンクリート造 3階建（一部地下1階、塔屋2階）延床面積 4,135.45 m²

施設内容

- ア 科学博物館（休館日：月曜（祝日の場合はその翌日）・12月29日～1月3日）
 自然科学を扱う博物館（科学展示室、プラネタリウム、天体観測室）
 科学機器展示、プラネタリウム投映、天体観測、親子科学工作教室を実施
- ・科学展示室 エネルギーなどをテーマにした展示機器を設置（休館日を除き毎日一般公開）
 - ・プラネタリウム 一般投映（土・日曜日・祝日、月曜日を除く松本市内小・中学校の長期休暇中に投映）と特別投映（学校、社会教育団体等の希望で随時投映）音楽鑑賞・コンサートの開催
 - ・天体観測 星空散歩（星の観望会）太陽観測の開催
- イ 視聴覚センター
 パソコン教職員研修、市民講座、映画会を開催
- ウ 山辺中間教室
 不登校児童生徒の相談や支援
- エ 松本市教育館
 松本市内教育団体に施設貸与
- オ 山辺学校歴史民俗資料館（平成27年4月～平成31年3月末まで耐震工事のため休館）
 山辺地域の歴史民俗資料を収集・保管・展示

教文センター主催事業・講座

- ア 教文学習 市内全校の小学校5年生、中学校1年生を対象とした体験的学習
- イ 教職員研修 パソコン等34講座及び学校別研修
- ウ 市民講座 歴史民俗、天体観測、親子科学工作教室、パソコン等90講座
- エ その他 親子映画、星空音楽館、星空ステージ等
- 建設費 1,338,700千円
- 竣工 昭和58年6月30日
- 開館 昭和58年10月1日

利用状況

年度	総利用者数	左 の 内 訳		使用料	観覧料
		会議室等利用者数	観覧者数		
26	30,437	18,350	12,087	1,739（千円）	741（千円）
27	24,580	14,939	9,641	1,716（千円）	727（千円）
28	27,475	16,218	11,257	1,686（千円）	821（千円）

教文センター主催事業関連の利用者数・観覧者数は除く。

科学展示室・山辺学校歴史民俗資料館は平成27年4月1日から観覧料無料

14 学校給食

松本市の学校給食は、5カ所の学校給食センター（西部、東部、梓川、波田、四賀）と、3カ所の自校給食校により児童・生徒に安全安心でおいしい給食を提供しています。

給食施設の整備推進

ア 西部学校給食センターは、平成 13 年から運用を開始しドライシステムの導入・作業区域（清潔ゾーンと非清潔ゾーン）の完全分離・空調設備の充実を図り、国の「学校給食衛生管理基準」を満たした施設となっています。

イ 第 2 学校給食センターは、昭和 52 年から運用を開始し、中学校 12 校に給食を提供してきましたが、平成 21 年 8 月からは後継施設として建設された東部学校給食センターで給食の提供をしています。

これにより、旧市内の小中学校を東西に区分して西部学校給食センターと小中混在型の 2 センターで提供することになり、効率的な配送が可能となりました。

ウ 梓川学校給食センターは、昭和 63 年よりドライシステムにより運用を開始、梓川小学校に併設、梓川中学校へ配送をしています。

エ 波田学校給食センターは、昭和 46 年に波田小学校に併設した形で建設され、波田中学校へ配送しています。

オ 四賀学校給食センターは、平成 25 年度に四賀小学校に併設した形で建設され、会田中学校へ配送しています。

アレルギー対応食提供事業

平成 11 年 1 月から、児童・生徒の個々の症状に合わせたアレルギー対応食を提供しています。（平成 28 年度末現在、西部学校給食センター 78 人、東部学校給食センター 64 人、梓川学校給食センター 21 人、波田学校給食センター 15 人、四賀学校給食センター 2 人、安曇小中学校 2 人）

なお、今後、アレルギー対応食提供児童・生徒が増加傾向にあるため、施設の拡充、栄養士・調理員等の充実及び家庭、学校、学校給食センター、医師会の連携強化を進め対応食の解除に向けた取り組みを行っていきます。

給食の状況

ア センター給食

（平成 29 年 5 月 1 日現在）

センター名	場所	敷地面積	延床面積	建物構造	対象校	給食数	給食費
西部 (H13.4)	野溝西 3-6-1	6,969.21 m ²	3,587.61 m ²	鉄骨造 2階建	小学校 11・ 中学校 6校	8,869 食	小学校 280 円 / 食 4,530 円 / 月 中学校 330 円 / 食 5,230 円 / 月
東部 (H21.8)	大字原 7-1	7,788.81 m ²	4,062.46 m ²	鉄骨造 2階建	小学校 11・ 中学校 7校	7,808 食	小学校 280 円 / 食 4,720 円 / 月 中学校 330 円 / 食 5,500 円 / 月
梓川 (S63.12)	梓川梓 755	1,140.55 m ²	820.55 m ²	鉄骨造 平屋建	小中学校 各 1校	1,465 食	小学校 280 円 / 食 4,760 円 / 月 中学校 330 円 / 食 5,500 円 / 月
波田 (S46.4)	波田 10286-1	波田小学 校敷地内	546.35 m ²	鉄骨造 平屋建	小中学校 各 1校	1,451 食	小学校 280 円 / 食 4,620 円 / 月 中学校 330 円 / 食 5,500 円 / 月
四賀 (H25.4)	会田 1113	四賀小学 校敷地内	393.00 m ²	鉄骨造 平屋建	小中学校 各 1校	248 食	小学校 280 円 / 食 4,620 円 / 月 中学校 330 円 / 食 5,500 円 / 月

イ 自校給食

(平成 29 年 5 月 1 日現在)

施 設	場 所	建物面積	築 年	給食数	給 食 費 (*注)
奈川小・中学校	松本市奈川 2281	65 m ²	S44	61	小 305 円 / 食 5,978 円 / 月 中 330 円 / 食 6,501 円 / 月
安曇小・中学校	松本市安曇 964	150 m ²	S43	72	小 310 円 / 食 61,380 円 / 年 中 333 円 / 食 65,601 円 / 年
大野川小・中学校	松本市安曇 3886-1	196 m ²	H6	51	小 313 円 / 食 5,164 円 / 月 中 341 円 / 食 5,626 円 / 月

*注 奈川小中学校の給食費は、月額×10回で集金します。
安曇小中学校の給食費は、年額を10回に分けて集金します。
大野川小中学校の給食費は、月額×11回と3月に小学校5,170円中学校5,632円集金します。

社会教育

15 社会教育関連施設

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

区分	施設名	所在地	電話番号	F A X 番号
博物館	松本市立博物館	丸の内 4 番 1 号	32-0133	32-8974
	重要文化財旧開智学校校舎	開智 2 丁目 4 番 12 号	32-5725	32-5729
	松本民芸館	里山辺 1313 番地 1	33-1569	33-1569
	松本市立考古博物館	中山 3738 番地の 1	86-4710	86-9189
	松本市はかり資料館	中央 3 丁目 4 番 21 号	36-1191	36-1191
	松本市旧司祭館	開智 2 丁目 6 番 24 号	32-5725	32-5729
	旧制高等学校記念館	県 3 丁目 1 番 1 号	35-6226	33-9986
	窪田空穂記念館	和田 1715 番地 1	48-3440	48-4287
	重要文化財馬場家住宅	内田 357 番地 6	85-5070	85-5070
	松本市歴史の里	島立 2196 番地 1	47-4515	48-0813
	松本市時計博物館	中央 1 丁目 21 番 15 号	36-0969	36-0973
	松本市山と自然博物館	蟻ヶ崎 2455 番地 1	38-0012	38-0012
	松本市高橋家住宅	開智 2 丁目 9 番 10 号	33-1818	33-1818
	松本市四賀化石館	七嵐 85 番地 1	64-3900	64-4239
松本市安曇資料館	安曇 3480 番地 2	94-2134	94-2612	
地区公民館等	松本市中央公民館	中央 1 丁目 18 番 1 号	32-1132	37-1153
	〃 第一地区公民館	〃	32-1550	32-1550
	〃 第二地区公民館	本庄 2 丁目 3 番 23 号	39-3601	39-3602
	〃 第三地区公民館	中央 4 丁目 7 番 28 号	36-7040	35-6344
	〃 東部公民館	女鳥羽 2 丁目 1 番 25 号	36-8565	36-8551
	〃 城北公民館	開智 2 丁目 3 番 39 号	38-0120	38-0121
	〃 大手公民館	大手 3 丁目 8 番 1 号	39-5711	39-5712
	〃 安原地区公民館	旭 2 丁目 11 番 13 号	39-0701	39-0702
	〃 城東公民館	元町 3 丁目 7 番 1 号	34-0191	34-0192
	〃 白板地区公民館	城西 1 丁目 6 番 17 - 3 号	35-7740	36-5497
	〃 田川公民館	渚 3 丁目 2 番 7 号	27-3840	27-3841
	〃 庄内地区公民館	出川 1 丁目 5 番 9 号	24-1811	24-1812
	〃 鎌田地区公民館	両島 5 番 50 号	26-0206	27-2957
	〃 松南地区公民館	芳野 4 番 1 号	26-1083	25-5337
	〃 中山公民館	中山 3746 番地 1	58-5822	85-1016
	〃 島内公民館	島内 4970 番地 1	47-0264	40-1264
	〃 島立公民館	島立 3298 番地 2	47-2049	40-1258
	〃 新村公民館	新村 2179 番地 7	48-0375	40-1625
	〃 和田公民館	和田 2240 番地 31	48-5445	40-1259
	〃 神林公民館	神林 1557 番地 1	58-2039	85-1159
	〃 笹賀公民館	笹賀 2929 番地	58-2046	85-1146
	〃 芳川公民館	野溝東 2 丁目 10 番 1 号	58-2034	85-1057
	〃 寿公民館	寿豊丘 424 番地	58-2038	85-1099
	〃 寿台公民館	寿豊丘 649 番地 1	58-6561	86-7964
	〃 岡田公民館	岡田町 517 番地 1	46-2313	45-1001
	〃 入山辺公民館	入山辺 1509 番地 1	32-1389	37-0258
〃 里山辺公民館	里山辺 2930 番地 1	32-1077	37-0640	
〃 今井公民館	今井 2231 番地 1	59-2001	59-1004	

	内田公民館	内田 2203 番地 1	58-2494	85-1071
	本郷公民館	浅間温泉 2 丁目 9 番 1 号	46-1500	45-1014
	松原地区公民館	松原 39 番地 1	57-2322	85-3103
	四賀公民館	会田 1001 番地 1	64-3112	64-2933
	安曇公民館	安曇 2741 番地 1	94-2301	94-2918
	奈川公民館	奈川 2546 番地	79-2121	79-2903
	梓川公民館	梓川梓 2285 番地 1	78-3000	78-3942
	波田公民館	波田 4417 番地 1	92-2268	92-2332
図書館施設	中央図書館	蟻ヶ崎 2 丁目 4 番 40 号	32-0099	37-1148
	南部図書館	芳野 4 番 1 号	26-1083	25-5337
	あがたの森図書館	県 3 丁目 1 番 1 号	32-1761	33-9986
	西部図書館	両島 5 番 50 号	26-0341	27-2957
	寿台図書館	寿豊丘 649 番地 1	58-7167	86-7964
	本郷図書館	浅間温泉 2 丁目 9 番 1 号	46-1262	45-1014
	中山文庫	中山 3533 番地 1	58-5666	58-5671
	島内図書館	島内 4970 番地 1	48-2711	48-2712
	空港図書館	今井 4237 番地 1	86-8460	86-8461
	梓川図書館	梓川倭 562-1	76-2070	76-2071
	波田図書館	波田 10106 番地 1	92-7503	92-7505
社会教育文化施設等	あがたの森文化会館	県 3 丁目 1 番 1 号	32-1812	33-9986
	教育文化センター	里山辺 2930 番地 1	32-7600	32-7604
	池上百竹亭	丸の内 10 番 31 号	32-0141	32-0141
	青少年ホーム	芳野 4 番 1 号	26-1083	25-5337
	松本市美術館	中央 4 丁目 2 番 22 号	39-7400	39-3400
	松本市梓川アカデミア館	梓川倭 566 番地 12	78-5000	78-5101
	ふれあいパーク乗鞍	安曇 4855 番地 100	93-1122	93-1122
	奈川文化センター夢の森	奈川 3301 番地	79-2304	79-2903

16 青少年ホーム

青少年の福祉の増進並びに自立及び社会参画の促進を図るために、各種講座や相談事業等を実施しています。

また、次代を担う児童・生徒の主体性や課題解決力等、将来、社会で自立して生きるための能力、態度の育成を目指す「生きる力（キャリア教育）」育成事業を推進しています。

位置 松本市芳野 4 番 1 号

構造・規模 鉄筋コンクリート造 3 階建

敷地面積 6,217.76 m² 延床面積 2591.14 m²

移転開館日 平成 2 年 5 月 24 日

施設内容 青少年ホーム、松南地区公民館、南部図書館との複合施設（南部体育館隣接）
（音楽室、視聴覚室、会議室、工作実習室、料理実習室、和室、団体室、図書館等）

建設費 681,000 千円（体育館除く）

利用方法 個人登録制（利用者の会 会費年間 200 円）

年度	延利用者数	登録者数
26	8,395 人	392 人(男 143 人、女 249 人)
27	7,264 人	402 人(男 143 人、女 259 人)
28	6,629 人	355 人(男 129 人、女 226 人)

利用対象者 松本市に居住し、通学し、又は勤務する 15 歳以上 35 歳未満の青少年

事業内容

- ・ヤングスクール、ヤングキャリアメンター、キャリアアップセミナー、利用者の会・所属クラブの育成・支援、交流会
- ・機関紙（nanmatsu）の発行
- ・「生きる力（キャリア教育）」育成事業（子ども地域チャレンジ、子どもプレイパーク、子ども参観日、社会スタディーゼミ）
- ・成人式の開催

17 生涯学習推進事業

本市では、地区公民館、町内公民館、地区福祉ひろばなどをはじめとするコミュニティ施設で、その役割や機能に応じた学習活動が展開されています。社会環境の変化に対応した生涯学習を推進するため、平成 17 年 3 月に改訂した松本市生涯学習基本構想「学びの森づくりをめざして」を生涯学習の指針として、コミュニティ活動施設、関係機関等と十分に連携をとりながら事業を進めていきます。

松本市出前講座「いい街つくろう！パートナーシップまつもと」の実施

市民と市職員がパートナーとなり、市民が主役となる街づくりを進めるため、平成 16 年 12 月から市の政策や業務など市民生活に密着したテーマに関する出前講座を実施し、市民の要望に応じて担当職員が地域へ出向いています。また、講座のメニューには、市や公共的機関が行っている業務や政策など、160 の講座を用意しています。

地区公民館の整備

ア 地区公民館大規模改修事業

松本市第 8 次基本計画の 34 地区 34 館構想に基づく地区公民館の整備は、平成 21 年度の松原地区公民館をもって完了しました（波田地区を含めて現在地区公民館は 35 館）。

今後は超高齢社会に対応すべく、健康寿命延伸のための活動拠点として、建物の耐久性確保と機能維持、福祉、環境面に重きを置いた改修や設備、備品の更新等を計画的に進め、施設の充実を図るとともに、松本市公共施設等総合管理計画に基づき長寿命化を目指します。

公民館名	事業内容	事業費（千円）	着工予定年月	竣工予定年月
笹賀公民館	改修工事等	199,990	29 年 6 月	29 年 2 月
和田公民館	設計業務委託	7,800	29 年 6 月	29 年 2 月

イ 波田公民館移転改修事業

老朽化し耐震基準を満たしていない波田公民館を、支所機能縮小により空きスペースの生じた波田支所庁舎に移転し、安全な学習の場の提供と、空き施設の有効活用を図ります。

事業内容	事業費（千円）	着工年月	竣工予定年月
改修・解体工事等	169,970	28 年 8 月	30 年 3 月

生涯学習情報の提供、啓発等

- ・生涯学習情報誌「学びの森いんぷおめ - しょん」の発行（年 4 回）
- ・地域の指導者・団体に係る情報を登録した「生涯学習ファイル」の充実

まつもと市民生きいき活動の啓発

ア 平成 21 年度にこれまでの「あいさつ運動」を発展させ、「まつもと市民生きいき活動」を定めました。いつの時代であっても大切なことである「こころをみがき、からだを使おう」、「あいさつをしよう」、「きれいにしよう」という 3 つの視点で、市民一人ひとりが目標を定め、日々の暮

らしの中で地道に取り組むことにより学都松本を目指すものです。

イ 今後は、あらゆる機会をとらえた活動事例の収集と紹介、平成 22 年度に作成したロゴマークの活用により市民周知を図ります。

18 町内公民館

市内 489 町会のうち 428 町会に町内公民館施設があります。

整備補助金

ア 一般建設費

区分	補助内容			備考	
	補助対象経費の算出	補助率	限度額		
建物	新築	単独町会等	2 / 3	万円 1,000	未設置町会等が新築する場合
		単独町会等	1 / 2	1,000	既設置町会等が既存の公民館を廃止して新築する場合
		複数町会等	2 / 3	1,000 × 当該町会等の数	複数の未設置町会等が新築し、共有の公民館を設置する場合（未設置町会等と既設置町会等が新築し、共有の公民館を設置する場合の未設置町会等を含む。）
			1 / 2	1,000 × 当該町会等の数	複数の既設置町会等が新築し、共有の公民館を設置する場合（未設置町会等と既設置町会等が新築し、共有の公民館を設置する場合の既設置町会等を含む。）
	改築	単独町会等	同上	1,000	未設置町会等と既設置町会等が改築し、共有の公民館を設置する場合
		複数町会等		1,000 × 当該町会等の数	
	増築	単独町会等	同上	600	新、改築時に補助金の交付を受けている場合の限度額は、400 万円とする。
		複数町会等		600 × 当該町会等の数	未設置町会等と既設置町会等が増築し、共有の公民館を設置する場合
	改修	実際の改修費	同上	500	
	既設建物取得	単独町会等	2 / 3	1,000	未設置町会等が既設建物を取得する場合
1 / 2			800	既設置町会等が買い増しにより既設建物を取得する場合で、既に補助金の交付を受けているときの限度額は、400 万円とする。	
複数町会等		2 / 3	1,000 × 当該町会等の数	複数の未設置町会等が既存建物を取得し、共有の公民館を設置する場合（未設置町会等と既設置町会等が取得し、共有の公民館を設置する場合の未設置町会等を含む。）	

限度額まで交付を受けた場合、助対象とならない。
新築及び改築については 10 年、その他の区分については 5 年を経過しなければ次の補

				1/2	800×当該町会等の数	複数の既設置町会等が既存建物を取得し、共有の公民館を設置する場合（未設置町会等と既設置町会等が取得し、共有の公民館を設置する場合の既設置町会等を含む。）
土地取得	敷地取得	単独町会等	（適正な敷地面積又は取得面積のいずれか小さい面積）×（取得価格又は基準価格のいずれか低い額	2/3	1,000	1館につき、1回のみ申請とする。
		複数町会等			1,000×当該町会等の数	複数の未設置町会等が共有の公民館を設置する場合で、共有の敷地を取得するとき

既設置町会等の2館目以後の町内公民館に係る限度額は、定められた限度額に0.8を乗じて得た額とする。

イ 単独福祉関連・耐震補強整備費

補助内容				備考
補助対象となる工事	補助対象経費の算出	補助率	限度額	
1 福祉関連整備 玄関 スロープ設置工事 トイレ 洋式化工事、洗面台の設置工事、車いすスペース確保のための改修工事 台所 厨房機器の改修工事 階段 エレベーターの設置工事、階段の改修工事 その他 長野県福祉のまちづくり条例（平成7年長野県条例第13号）第10条第1項に規定する特定施設整備基準を満たす工事で、建物の主体に係るもの	実際の整備費	2/3	万円 500	限度額まで交付を受けた場合、5年を経過しなければ、次の補助対象とならない。
2 耐震補強整備 耐震診断に基づく耐震補強工事			（複数の町会等が共有する公民館の整備を行う場合） 500×当該町会等の数	

ウ 借上料

区分		補助内容		
		補助対象経費の算出	補助率	限度額
借地	平成7年4月1日以降の借地契約により新規に公民館を設置するもの	近傍路線価×借地面積×1.3/100と実際の契約額のいずれか低い方の額	契約年度を含む3ヵ年10/10 上記以降1/2	万円/年 5
	上記以外のもの		1/2	
借家	平成7年4月1日以降の借家契約により新規に公民館を設置するもの	（建物評価額+近傍路線価×建築基準法上必要な面積）×1.3/100と実際の契約額のいずれか低い方の額	契約年度を含む3ヵ年10/10 上記以降1/2	5
	上記以外のもの		1/2	

（備考）複数の町会等が借地又は借家する場合の補助金の限度額は、1年間につき5万円×当該町会等の数とする。

町内公民館の活動

町内公民館は、各町会の自主的活動の場として、規模・施設内容とも多様ですが、それぞれ地域性をいかした学習、文化、スポーツ活動を実施しています。

その自主性を尊重しながら、より効果的な充実等をはかるため、町内公民館長の研修会等を通じて活動の支援を進めています。

19 あがたの森文化会館

位置 松本市県 3 丁目 1 番 1 号
 構造・規模 木造 2 階建本館及び講堂 2 棟 延床面積 3,611.11 m²
 施設内容 ホール (350 人) 大会議室 4 室 中会議室 10 室 小会議室 5 室
 開館 昭和 54 年 10 月 1 日
 重要文化財指定 平成 19 年 6 月 18 日 名称：旧松本高等学校本館・講堂
 利用状況

年度	総利用件数	総利用者数	減免利用件数	使用料
26	4,634 件	117,165 人	3,982 件	4,618 千円
27	4,752 件	114,541 人	4,005 件	5,198 千円
28	4,599 件	109,913 人	3,860 件	5,034 千円

重要文化財旧松本高等学校校舎耐震化事業

文化庁の定めた「重要文化財（建造物）耐震診断指針」及び「重要文化財（建造物）保存活用計画策定指針」に基づき、平成 28 年度は壁耐久力試験を行い、適正量の耐震補強案を作成するとともに、保存活用計画策定委員会による保存活用計画を策定しました。

平成 29 年度は「重要文化財（建造物）耐震対策工事事業 取り扱い要領」に基づき、平成 30 年度、31 年度に実施予定の耐震補強工事の実施設計をおこないます。

20 池上百竹亭

位置 松本市丸の内 10 番 31 号
 概要 故池上喜作氏の遺族から建物の寄贈を受けたことを契機に、住居、茶室、庭園等を整備し、生涯学習施設・文化施設として広く施設の提供を行うことにより、教育文化活動振興の場として活用されています。
 構造・規模 ・敷地面積 1,038.74 m²
 ・整備内容 建物 居宅 木造平屋建 122.60 m²
 茶室 木造平屋建 16.52 m²
 庭園 茶庭として整備 95.75 m²
 日本庭園として整備 216.00 m²
 施設内容 ・和室 3 室、茶室、勝手場、事務室、庭園
 ・開館時間 午前 9 時～午後 9 時
 ・休館日 月曜日（国民の祝日に開する法律に規定する休日に当たるときは、当該日以後の休日に当たらない最初の日）
 12 月 29 日～翌 1 月 3 日
 建設費 49,330 千円
 竣工 平成 8 年 1 月 31 日
 開館 平成 8 年 7 月 1 日
 管理運営 平成 19 年度から指定管理者制度を導入
 ・平成 19～22 年度 （社）松本地域シルバー人材センター
 ・平成 23～28 年度 （一社）梓川ふるさと振興公社
 ・平成 29 年度～ （公社）松本地域シルバー人材センター

21 ふれあいパーク乗鞍

位置	松本市安曇 4855 番地 100
概要	旧安曇村時代一般廃棄物最終処分場を当地に建設するにあたり、その影響を少しでも緩和し、地域のコミュニティ形成の一助とする目的で建設されました。
構造・規模	・敷地面積 11,997 m ² ・整備内容 建物 鉄骨造平屋建 979.15 m ²
設備内容	・多目的ホール、カルチャー室、調理室、和室、事務室、団らんホール、屋根付広場、自転車置場、駐車場 ・開館時間 午前9時～午後9時 ・休館日 12月29日～翌1月3日
建設費	318,627 千円
竣工	平成 15 年 3 月 31 日
開館	平成 15 年 4 月 1 日
管理運営	平成 20 年度から指定管理者制度を導入 指定管理者 ふれあいパーク乗鞍管理委員会

22 公民館

中央公民館

- ・構造・規模 鉄骨鉄筋コンクリート、地上7階、延面積 8002.90 m²（第一地区公民館・女性センター・多文化共生プラザ・中央保健センター・第一地区福祉ひろばを含む。）
- ・竣工期日 平成 11 年 4 月 12 日
- ・施設内容 ホール（360 人）レクリエーション室 1 大会議室 1 中会議室 5
中視聴覚室 1 小視聴覚室 2 特別室 4（工作室、保育室、料理実習室、和室）

地区公民館（35 館）

地区公民館には、それぞれの施設内容等に応じた職員配置がされています。

中央公民館及び地区公民館の事業（28 年度）

- ア 世代別学習活動 青少年・成人・高齢者対象講座
 - イ 人権平和学習 日本語講座、人権教育講座、人権教育指導者養成講座、平和問題学習
 - ウ 男女共同参画学習 男女共同参画学習講座、家庭教育講座、子育て講座
 - エ 健康事業 体育・レクリエーション活動、健康学習、食育講座
 - オ 地域・人づくり学習 学校サポート（学校応援団）事業、地域づくり講座・懇談会
 - カ 福祉学習 福祉ひろばとの連携講座、地域福祉学習講座
 - キ 文化活動 歴史文化講座、芸術文化祭、文化活動グループの作品展
 - ク 広報活動 公民館報、公民館だよりの発行、学習情報の提供
 - ケ 町内公民館活動の助成・援助 町内公民館長研修会、振興委託
 - コ その他 学習相談及び学習グループ等の育成、公民館研究集会、地域学習テキスト作成事業
- 利用状況

年度	名称	利用件数(件)	利用人数(人)
26	中央公民館	6,913	110,606

	地区公民館	57,299	738,707
	計	64,212	849,313
27	中央公民館	6,750	103,461
	地区公民館	55,928	762,102
	計	62,678	865,563
28	中央公民館	6,789	97,178
	地区公民館	58,572	732,301
	計	65,361	829,479

23 中央図書館

明治24年5月に開智書籍館の名称で創設され、大正10年2月、松本市立図書館として発足しました。平成3年10月新中央図書館としてオープン、南部、あがたの森、西部、寿台、本郷、中山文庫、島内、空港、梓川、波田の10分館を設置しています。

平成16年10月から、中央図書館において休日開館を開始、平成17年6月からはパソコンコーナーの設置、平成19年5月からはインターネットによる資料予約の開始、平成21年度からは中央図書館の開館時間を午前9時30分開館にするなど市民サービスの向上に努めています。

中央図書館の規模

建築面積 1,932.25 m² 延床面積 4,831.64 m²

構造 鉄筋コンクリート造3階建

工期 平成元年11月～平成3年4月

総事業費 1,956,000千円

29年度予算額（人件費を除く）

図書館費 217,770千円

うち資料整備事業費 94,500千円

中央図書館及び各分館の概要

（平成28年度末現在）

館名	住所	開設年月	蔵書数 (冊)	年間貸出 (冊)	調査件数 (件)
中央図書館	631 蟻ヶ崎	大正10年2月	631,671	540,761	3,440
南部図書館	芳野4-1	平成2年5月	74,488	275,438	2,155
あがたの森図書館	県3-1-1	昭和54年10月	27,393	112,193	997
西部図書館	両島5-50	平成2年4月	34,481	72,455	654
寿台図書館	寿豊丘649-1	平成5年4月	30,752	83,031	707
本郷図書館	浅間温泉2-9-1	平成11年4月	33,870	82,241	575
中山文庫	中山3533-1	平成13年4月	162,490	50,210	997
島内図書館	島内4970-1	平成13年5月	41,525	74,643	733
空港図書館	今井4237-1	平成14年4月	51,133	101,072	186
梓川図書館	梓川倭562-1	平成24年5月	47,541	117,640	395
波田図書館	波田10106-1	平成7年4月	97,351	109,985	424
計			1,232,695	1,619,669	11,263

団体貸出

団体名	年間貸出冊数(冊)	施設・団体数(団体)
読書会	556	3

高 齢 者 施 設	1,679	8
児 童 施 設	9,088	27
学 校	3,365	10
地 区 公 民 館	8,881	11
市 施 設 等	2,036	3
障 害 者 等 家 庭 配 本	4,596	(67人)
計	30,201	62

「学都松本子ども読書活動推進計画」の策定

「子ども読書活動推進計画」を平成25年10月に策定し、生きいきとした自主的な読書活動ができるように、家庭、地域、学校、図書館等の連携を図りながら、子どもが読書に親しめる環境づくりや子ども読書活動を広め・支える人の育成に取り組んでいます。

図書館からの情報発信

市民に図書館をより身近に感じていただき、図書館の利用促進を図るため、図書館からの情報発信を行っています。

平成24年4月 図書館ホームページの開設

平成25年4月 図書館だよりを月1回発行

平成26年4月 FMまつもとの「まつもと日和」に月1回出演（第1水曜日）

平成28年4月 Facebook ページ「松本市図書館～アルプスの山々に囲まれた～」を開設

視覚障害者用デジタル図書（デージー図書）貸出サービスについて

障害者サービスとして実施している図書資料の宅配サービス、対面朗読サービスに加え、視覚障害者を対象としたデージー図書について、図書館協力団体との協働により製作し、貸出サービスを提供しています。今後、資料の充実を図るとともに利用促進を図ります。

図書館利用者サービスの充実

中央図書館では、夏期期間の土・日曜日及び祝日の開館時間延長を行っています。

利用状況等について検証するとともに図書資料の収集方針、除籍基準等の見直しを行い、利用者サービスの充実に向けて研究を進めます。

他の図書館等の連携

ア 地域の大学図書館、公民館図書室等と図書館活動において相互に連携し、利用者サービスの拡大を図っています。

イ 信州大学附属病院が、平成21年5月に設置した患者図書室（愛称「こまくさ図書室」）は、本市の図書館分館機能を有する図書室として、貸出、返却、予約資料の受渡し等を行い、入院、通院患者をはじめ、市民に広く利用いただいています。今後も、より利用しやすく親しまれる図書室となるよう信州大学附属病院と調整していきます。

ウ 平成23年4月から四賀地区、奈川地区の公民館図書室で、図書館資料の返却ができるサービスを行っています。

24 松本市内の指定・登録等文化財状況

平成 29 年 5 月 1 日現在

(単位：件)

種別	指定別	国	県	市	合計
有形文化財	建造物	10	6	26	42
	絵画・彫刻・工芸品	7	9	51	67
	書跡・典籍・古文書	2	0	6	8
	考古資料	0	2	11	13
	歴史資料	0	1	30	31
無形文化財		0	0	0	0
民俗文化財	有形民俗文化財	3	0	5	8
	無形民俗文化財	0	1	24	25
記念物	史跡	3	4	20	27
	名勝	1	2	9	12
	天然記念物	2	9	39	50
小計		27	34	221	283
登録有形文化財		47			47
選択無形民俗文化財		2	1		3
合計		77	35	221	333

重要美術品 2 件を国の有形文化財に含めています。

件数は、同一の物件につき、2 つの区分に重複して指定が行われている場合（例えば、史跡及び天然記念物という指定の場合など）、それぞれの種別につき 1 件として数えたものです。

25 国宝松本城

沿革

松本城天守は今から 420 年近く前、石川数正・康長父子によって築城され、小笠原、戸田、松平、堀田、水野、戸田（再）の 6 家 23 代の城主を経て明治維新に至りました。明治 4 年の廃藩後、天守を除く主要建造物が破却され、壘塀の大部分を失い、天守も売却されましたが、有志の努力によって買いもどされ国の所有となって残りました。

明治 36 年から大正 2 年にかけて天守の大修理が行われ、さらに昭和 25 年から昭和 30 年には国の直轄事業として天守の解体復元が行われました。その後の整備は、昭和 35 年に黒門（一の門）の復興再建、昭和 60 年には 6 年の歳月を経て二の丸御殿跡の平面復元を行い、史跡公園として整備をしました。

平成元年 11 月に黒門枡形二の門（高麗門）と袖塀を復元し、さらに平成 2 年から太鼓門枡形の復元に着手し、平成 11 年 3 月に完成しました。平成 18 年からは西総堀土塁の整備に着手し、平成 22 年 3 月に竣工しました。また、平成 24 年度以降継続して南・西外堀の史跡松本城への追加指定に取り組んでいます。

指定

区分	国	宝	史	跡
指定対象	天守 乾小天守 渡櫓 辰巳附櫓 月見櫓	五重六階本瓦葺木造 三重四階本瓦葺木造 二重二階（一部地階） 本瓦葺木造 二重二階本瓦葺木造 一重一階（一部地階） 本瓦葺木造	本丸跡地 二の丸跡地 堀跡地 堀跡地 堀跡地	園地 園地（含松本城公園） 内堀、外堀 総堀 総堀、土塁
指定年月日		（国宝保存法） 昭和 11.4.20	文化財保護法 昭和 27.3.29	（史跡名勝天然記念物保存法） 昭和 5.11.19 文化財保護法 昭和 25. 8.29 （以下、追加指定） 昭和 45. 1.17 平成 19. 2. 6 平成 25. 3.27 平成 26. 3.18 平成 27. 3.10 平成 28. 3. 1

観覧人員

26年度 892,962人 27年度 949,430人 28年度 990,361人

人員は有料及び無料観覧者（行事参加者等）の合計

観覧料（松本市立博物館との共通券料金）

平成 26 年 4 月 1 日改定

大人 610 円（団体 20 人以上 550 円 100 人以上 480 円 300 人以上 420 円）

小人 300 円（団体 20 人以上 270 円 100 人以上 240 円 300 人以上 210 円）

史跡松本城の整備

史跡松本城の整備は昭和 52 年に策定した 16 項目からなる「松本城中央公園整備計画」を基に進められ、困難な 4 項目を残し終了しました。

その後、平成 11 年 9 月「史跡松本城整備研究会」の調査研究と指導・助言を仰ぎ、18 項目に厳選した「松本城およびその周辺整備計画」を策定しました。現在はこの計画に基づき早期に事業化すべきものから順次進めています。

ア 南・西外堀の復元整備事業

(ア) 事業概要

松本城南・西外堀の復元は 30 年来の懸案事項であり、「松本城およびその周辺整備計画」では、外堀の史跡化を図るとともに、内環状北線道路拡幅改良工事と一体化し、地元の理解と協力を得て復元すると位置付けています。

(イ) 経過

昭和 52 年度 「松本城中央公園整備計画」で外堀復元の基本方針を決定

平成 11 年度 「松本城およびその周辺整備計画」を策定

平成 18 年度 文化庁の指導により発掘を実施

平成 20 年度 関係地権者に個別意向調査を実施

平成 21 年度 史跡範囲を決めるための測量調査を実施

平成 22 年度 地元説明会を 5 回開催し、南・西外堀復元計画及び内環状北線（先線）の整

備計画の素案を提示

- 平成 23 年度 地元の相談窓口として松本城周辺整備課を設置
権利関係者等に対して権利調査及び意向調査を実施
地元説明会で権利調査及び意向調査結果を報告
用地測量の実施
「松本城南・西外堀復元に係る事業計画」を策定
- 平成 24 年度 松本城周辺整備課を本部体制にして城下町整備本部を設置
ブロック別説明会の開催
南・西外堀の一部が史跡松本城に追加指定
- 平成 25 年度 ブロック別説明会を開催し、用地買収単価等について説明
事業用地取得に着手、南・西外堀の一部が史跡松本城に追加指定
- 平成 26 年度 ブロック別説明会を開催し、用地買収単価等について説明
事業用地の取得、南・西外堀の一部が史跡松本城に追加指定
- 平成 27 年度 事業用地の取得、南・西外堀の一部が史跡松本城に追加指定
- 平成 28 年度 事業用地の取得、南・西外堀の一部を史跡松本城への追加指定を意見具申

(ウ) 今後の取組み

平成 29 年度も引き続き事業用地の取得に取り組みます。個々の権利関係者の意向を十分に伺いながら条件整備を行い、丁寧な説明と慎重な対応により進めます。

また、文化財課に新たに設置した南・西外堀整備担当による堀の試掘調査結果を踏まえ、今後の整備に向けた具体的な検討を進めます。

イ 石垣修理事業

(ア) 事業概要

平成 14～15 年度に文化庁の指導により実施した史跡松本城石垣現況調査(危険度調査)を基に、長期的に石垣等の修理を進めています。平成 27 年度から、経年劣化により破損している本丸北外堀南面石垣の修理事業に着手しています。

(イ) 経過

- 平成 20 年度 松本城二の丸内堀(埋橋南)の石垣復元的修理工事
- 平成 22～26 年度 松本城二の丸御殿跡西側内堀東面石垣修理工事
- 平成 24～26 年度 松本城埋門南側石垣修理工事
- 平成 27 年度 松本城本丸北外堀南面石垣修理事業に着手、石垣現況測量及び修理工事基本設計を実施
- 平成 28 年度 松本城本丸北外堀南面石垣現況測量の継続及び、修理工事実施設計、北裏門東側門台試掘調査を実施

(ウ) 今後の取組み

平成 29 年度は、平成 28 年度に実施した修理工事実施設計に基づき、北裏門東側門台の石垣修理事業に着手します。

国宝松本城天守耐震診断事業

国宝松本城天守の地震時の安全性を確保するため、国の「重要文化財(建造物)耐震診断指針」に基づき、平成 26～28 年度の 3 か年で松本城天守(5 棟)の耐震診断を実施し、診断結果をも

とに構造補強検討案を作成しました。

診断の結果、「大地震動時の倒壊危険性及び中地震動時の非倒壊」と判定され、松本城天守の一部は震度6強から7の大地震時の耐震性能が不足していることが判明しました。今後は、構造補強検討案を基に、耐震対策基本計画等を策定し、耐震対策工事の早期着工に向けて取り組みます。

松本城観光ガイド支援事業

松本城の観光案内ボランティア2団体(松本城案内グループ、アルプス善意通訳協会)について、円滑な活動をサポートするため、観光ガイド案内所、従事者のユニフォーム整備支援等環境整備支援を行っています。

国宝松本城おもてなし隊事業

松本城における歴史体験をより豊かに、記憶に残るものとして感じていただくため、本丸庭園内に時代衣装を着用した「国宝松本城おもてなし隊」を配置し、来場者にサービスを行うとともに市内観光情報を提供し、松本城を起点とした回遊性創出のきっかけづくりを行っています。

平成29年度行事予定

主要事業及び関連事業等

時 期	事 業 内 容	会 場
平成29年 4/13(木)～4/20(木)	第18回国宝松本城夜桜会	本丸庭園
4/29(土・祝)	第8回国宝松本城松本藩古流砲術演武	本丸庭園
5/1(月)	松本市市制施行記念日(無料開放)	本丸庭園
7/29(土)～7/30(日)	第30回国宝松本城太鼓まつり	本丸庭園他
8/8(火)	第36回国宝松本城薪能(観世流)	本丸庭園
9/29(金)～10/4(水)	第18回国宝松本城月見の宴	本丸庭園
10/7(土)～10/9(月・祝)	第14回信州・松本そば祭り	松本城公園
10/9(月・祝)～11/8(水)	【第61 60 回お城まつり】 ・合同茶会・人形飾り物展・古式砲術演武 ・菊花展・少年少女剣道なぎなた大会 ・吟詠剣詩舞・弓道大会・少年少女武者行列 ・古城太鼓演奏・秋の茶会・二十六夜神例大祭	本丸庭園他
11/19(日)	国宝松本城と鷹狩	本丸庭園他
12/1(金)～12/28(木)	・冬囲い・しめ縄作り/飾り ・門松作り/飾り・すす払い	松本城内等
平成30年 1/3(水)	第27回国宝松本城新春祝賀式	本丸庭園
1/20(土)～1/21(日)	国宝松本城氷彫フェスティバル2018	松本城公園

26 美術館

松本市美術館は、市民の芸術文化の振興をはかり、文化の薫り高い豊かな市民生活に資するため、より広い世界の美術・文化を媒介し、新たな美術を育む創造の母胎となり、市民が心をひらく学びの森として、地域に根ざす総合美術館をめざしています。

沿革

美術館の建設については、古くは大正末期に市民の美術愛好家による建設運動が起こり、その後、昭和46年度の第一次基本計画に美術館建設計画が登場して以降、基本計画策定の都度、位置づけされてきました。しかし、社会情勢や財政事情によりなかなか実現には至らず、ようやく平成5年に（仮称）松本市美術館基本構想策定委員会が設置され、松本市にふさわしい具体的な美術館像の検討が始まりました。

経過

平成 8年6月	建設候補地を中央4丁目旧警察署跡地に決定
平成 9年3月	（仮称）松本市美術館基本構想策定
平成10年3月	（仮称）松本市美術館基本計画策定
平成10年6月	プロポーザル方式により、宮本忠長建築設計事務所に実施設計を委託
平成11年7月	実施設計完了
10月	新築工事起工
平成14年3月	新築工事竣工
平成14年4月	開館
平成20年4月	松本市梓川アカデミア館を博物館から移管。附属施設とする。
平成24年4月	松本市美術館開館10周年
平成29年4月	松本市美術館開館15周年
位置	松本市中央4丁目2番22号
敷地面積	10,185.92 m ²
規模・構造	鉄筋コンクリート造3階（一部4階）
	建築面積 3,495.62 m ²
	延床面積 7,741.87 m ²

施設の内容

・展示部門（企画展示室、常設展示室、記念展示室ほか）	2,521.17 m ²
・教育普及部門（市民アトリエ、講座室、版画室ほか）	1,034.21 m ²
・調査研究部門（学芸員室ほか）	348.27 m ²
・収蔵部門（収蔵庫、一時保管庫ほか）	705.43 m ²
・管理共用部門（ホール、事務室ほか）	3,132.79 m ²
・駐車場	普通車 82台 大型車 4台

収蔵作品数

ア 収集方針

「郷土ゆかりの作家」・「山」・「音楽」・「松本の自然、風土」に係る作品を中心に収集しています。

イ 収蔵作品数 2,362点（平成29年3月31日現在）

全体事業費	約105億円
竣工	平成14年3月15日（金）
開館	平成14年4月21日（日）

観覧料等

ア 常設展示

個人大人 410円	高校生・大学生 200円
団体大人 310円	高校生・大学生 100円

(団体扱いは 20 人以上、中学生以下及び 70 歳以上の松本市民は無料)

イ 特別展示

展覧会ごとに設定

展示公開

ア コレクション展示(記念展示含む)

会 場	展 覧 会 名	会 期
上條信山 記念展示室	“割れた線”の魅力	5月10日(火)～9月25日(日)
	上條信山 50～60 歳代の書	9月27日(火)～平成29年1月9日(月祝)
	上條信山 70～80 歳代の書	平成29年1月11日(水)～5月7日(日)
田村一男 記念展示室	田村一男の眼差し 4	5月10日(火)～9月25日(日)
	田村一男の眼差し 5	9月27日(火)～平成29年1月9日(月祝)
	山、眠る 田村一男没後20年	平成29年1月11日(水)～5月7日(日)
特設展示室	細川宗英特設展示	平成23年6月7日(火)～
池上百竹亭 コレクション	民藝と茶～濱田庄司の茶碗を中心～	5月10日(火)～9月25日(日)
	小川千鶴、再び	9月27日(火)～平成29年1月9日(月祝)
	珊瑚会の画家たち	平成29年1月11日(水)～6月4日(日)
常設展示室 A	特集展示 草間彌生 魂のおきどころ	平成27年7月7日(火)～28年10月10日(月祝)
常設展示室 B・C	草間彌生 魂のおきどころ	10月21日(金)～平成29年4月2日(日)
	新収蔵作品おひろめ展	10月15日(土)～12月25日(日)
	石井鶴三 特集展示	10月15日(土)～12月25日(日)
	美術館コレクションのはじまりと今～ミュージアムピースの愉しみ～	平成29年1月3日(火)～4月2日(日)

イ 特別展示

(ア) 平成 28 年度に開催した特別展

展 覧 会 名	会 期	観覧人数
日本民藝館所蔵 生誕 130 周年 バーナード・リーチ展	4月21日(木)～6月5日(日)	11,583人
山の日制定記念 遥かなる山 - 発見された風景美	7月16日(土)～9月4日(日)	10,132人
飯沼英樹 闘ウ女神タチ	9月17日(土)～11月27日(日)	11,519人
健康寿命延伸都市・松本 70 歳以上の公募による美術展 第 7 回老いるほど若くなる	平成 29 年 3 月 4 日(土)～4月9日(日)	6,891人
平成 28 年度合計		40,125 人

(1) 平成 29 年度の特別展

会場	展覧会名	会期
企画展示室	堤清二 セゾン文化、という革命をおこした男。	4月21日(金)～6月11日(日)
	日本のアニメーション美術の創造者 山本二三展	7月15日(土)～9月18日(月・祝)
	細川宗英展	10月7日(土)～11月26日(日)
	草間彌生特別展	平成30年3月3日(土)～7月22日(日)

利用状況

28年度	観覧者数	86,545人
	施設利用者数	89,671人

教育普及事業

- ア 美術関連講座、ワークショップ等の開催
- イ 特別展と連携した講演会、演奏会、ギャラリートーク
- ウ 学校との連携、学校の先生のためのギャラリートーク
- エ 美術館を楽しむお出かけ講座の実施
- オ 美術館友の会等との連携

松本市梓川アカデミア館

梓川地区の歴史と文化遺産を今に伝える資料展示と、美術の生涯学習の拠点として市民に親しまれ、生きがいや潤いのある市民文化の醸成を図ることを目指しています。

ア 沿革

平成元年	2月	旧梓川村においてふるさと創生事業について提言を公募し、文化施設の建設を決定
平成元年	9月	建設工事起工
平成2年	10月	建設工事竣工
平成3年	1月	開館
平成9年	4月	施設管理を(社)梓川ふるさと振興公社に委託
平成12年	10月	開館10周年記念式典開催
平成17年	3月	展示場を増設、竣工
平成17年	4月	松本市に合併。博物館の所管となる。
平成18年	4月	指定管理者制度導入(社団法人梓川ふるさと振興公社)
平成20年	4月	美術館へ所管替
平成29年	4月	施設管理及び事業運営を(一財)松本市芸術文化振興財団に委託

イ 所在地

〒390-1701 松本市梓川倭566-12

ウ 構造・規模

鉄筋コンクリート造2階建 延床面積 1,617.89㎡

エ 施設の内容

(ア) 展示部門(第1・2ギャラリー、第1～3展示室)	707.56㎡
(イ) 収蔵部門(収蔵庫)	104.17㎡
(ウ) 管理共用部門(事務室、ホールほか)	806.16㎡
(エ) 駐車場	普通車21台

才 開 館 平成 3 年 1 月 21 日
 力 観 覧 料 個人 大人 200 円 小中学生 100 円
 キ 展示公開

展 覧 会 名	会 期
押し花アート展 ~それぞれの花物語~	6月9日(木) ~ 14日(火)
山田恭子ボタニカルアート展~植物との語らい~	8月6日(土) ~ 21日(日)
松本広域消防局 防火ポスター入選作品展	11月8日(火) ~ 13日(日)
上野玄春回顧展十三回忌によせて	11月8日(火) ~ 20日(日)
開館記念 桂聰子フルートコンサート	12月4日(日)
松本市内小中学生 人権啓発ポスター展	平成29年1月4日(水) ~ 1月10日(火)
第16回信州梓川賞展	2月17日(金) ~ 3月20日(月)

ク 利用状況

28年度 観覧者数 826人
 施設利用者数 15,846人

27 博物館

経過

明治39年 9月21日 松本尋常高等小学校内に明治三十七、八年戦役記念館開館。のち松本紀（記）念館と改称。開館時の資料は軍事関係1,308点、風俗関係315点、博物標本2,102点、その他1,699点、図書19,046冊

明治41年 1月28日 東筑摩郡教育品研究所廃止により所蔵資料が移管

昭和6年 6月1日 松本市の管理に移管

昭和12年 9月 松本城二の丸に移転。ロックガーデンを設置し、山岳資料を充実

昭和13年 9月17日 松本記念館として有料開館、観覧料10銭（松本城10銭、共通15銭）

昭和20年 5月22日 この日をもって閉館し、収蔵資料の疎開開始

昭和22年 1月28日 松本史談会「博物館設置二関スル意見書」を市議会に提出。4月1日に松本記念館から松本博物館と改称

昭和23年 2月11日 地蔵清水に移転し松本市立博物館と改称。山岳・民俗・考古・歴史・教育の5部門を常設展示

4月23日 松本市立博物館管理条例を制定、松本城の管理を職務に編入

昭和27年 7月21日 県下初の博物館法による登録博物館に登録。11月再び二の丸に移転

昭和29年 4月1日 中山村との合併にともない中山考古館（昭和6年開館）を分館に位置付け

昭和30年 3月29日 分館として松本城記念館を設置

4月22日 七夕人形コレクション45点が重要民俗資料(昭和50年文化財保護法の改正により「重要有形民俗文化財」と改称。以下同じ)に指定

11月15日 松本城を分館とし、城郭係を新設

昭和33年 4月1日 分館中山考古館の建物を新築

	12月 24日	松本城管理事務所設置(城郭係廃止)、松本城管理事務が分離
昭和34年	5月 6日	農耕用具コレクション79点、民間信仰資料コレクション293点が重要民俗資料に指定
	12月 18日	孔雀文馨(仏具)1面が国の重要文化財に指定
昭和36年	3月 23日	市立開智小学校本館が重要文化財に指定
	3月 31日	重要民俗資料収蔵庫を新築
昭和37年	11月 3日	松本民芸館開館
昭和41年	4月 1日	重要文化財旧開智学校校舎が附属施設(現分館、以下同じ)に位置付け 財団法人日本民俗資料館が設立。8月に博物館法による登録。以後、松本市立博物館と日本民俗資料館の両名併記になる
昭和43年	4月 20日	日本民俗資料館開館
昭和49年	11月 1日	本田コレクション341点(古時計及び関係資料)を受贈、重要民俗資料収蔵庫を時計博物館として開館
昭和50年	4月 30日	アルプス山岳館開館
昭和52年	7月 1日	旧制松本高等学校記念館開館
昭和55年	6月 1日	時計博物館廃止。コレクションを日本民俗資料館2階に移管
昭和56年	10月 1日	松本城との共通観覧券を発行
昭和58年	10月 1日	財団法人松本市教育文化振興財団設立にともない財団法人日本民俗資料館が解散され、新財団へ移行
昭和59年	8月 1日	館ニュース「あなたと博物館」創刊
昭和61年	3月 31日	分館の中山考古館を廃止
	4月 1日	松本市立考古博物館を創設、附属施設に位置付け(8月2日開館)
平成元年	8月 4日	松本市はかり資料館開館
平成 3年	12月 1日	旧司祭館開館、市立博物館の附属施設に位置付け
平成 4年	4月 1日	松本民芸館、松本市はかり資料館を市立博物館の附属施設に位置付け
平成 5年	4月 1日	窪田空穂記念館を創設し、市立博物館の附属施設に位置付け(6月5日開館)
	7月 10日	旧制高等学校記念館開館
平成 6年	3月 31日	松本市旧司祭館が市の重要文化財に指定
平成 8年	12月 10日	馬場家住宅、国の重要文化財に指定
平成 9年	4月 8日	重要文化財馬場家住宅を博物館として開館、附属施設に位置付け
平成11年	9月 21日	この日を「松本市博物館の日」に制定し、以後関連行事開催
平成12年	6月	松本まると博物館構想策定
平成14年	4月 1日	松本市歴史の里開館、附属施設に位置付け
	9月 1日	松本市時計博物館開館、附属施設に位置付け
	19日	胡桃沢コレクション受贈(平成14年2月)により「子規忌」開催。以後毎年開催
平成15年	4月 25日	松本民芸館がリニューアルオープン
平成16年	4月 1日	松本まると博物館友の会が発足

	17日	松本市立考古博物館がリニューアルオープン
平成17年	3月28日	旧司祭館が県宝に指定
	4月 1日	日本民俗資料館が市に寄贈され松本市立博物館に名称統一 合併により四賀化石館・安曇資料館・奈川歴史民俗資料館・奈川自然学 習館・梓川アカデミア館が附属施設に位置付け
平成18年	4月 1日	旧制高等学校記念館を附属施設に位置付け
	9月21日	市立博物館が開館100周年
平成19年	4月28日	松本市歴史の里がリニューアルオープン
	5月 3日	山と自然博物館開館、附属施設に位置付け
	7月31日	松本市基幹博物館基本構想策定
平成20年	3月	松本市基幹博物館基本構想策定
	4月 1日	奈川歴史民俗資料館を博物館施設としての用途廃止 梓川アカデミア館を美術館に所管替え
平成21年	3月	松本市基幹博物館基本計画策定
	4月 1日	奈川自然学習館を博物館施設としての用途廃止
	5月 2日	松本市重要文化財高橋家住宅を博物館施設として開館、附属施設に位置 付け
平成22年	4月29日	松本市はかり資料館の改修工事終了、リニューアルオープン
平成23年	2月11日	松本市はかり資料館内に、旧三松屋蔵座敷を移築し、オープン
平成24年	4月 1日	松本市立博物館条例改正、附属施設を分館に位置づけ
	10月26日	松本市博物館協議会設置
平成25年	3月20日	国立大学法人名古屋大学重要文化財馬場家住宅研究センターとの文化・学術活動と地域貢献に関する覚書締結
	4月27日	旧制高等学校記念館がリニューアルオープン
平成28年	6月13日	松本城大手門駐車場敷地を基幹博物館の建設予定地とすることを決定
平成29年	3月	松本市基幹博物館施設構想及び建設計画策定
	3月19日	国立大学法人名古屋大学重要文化財馬場家住宅研究センターの廃止に 伴い、文化・学術活動と地域貢献に関する覚書の締結解消
所在地	〒390-0873 松本市丸の内 4-1	
構造・規模	鉄筋コンクリート造（地下1階、地上2階塔屋付） 本館延床面積 3,418.3 m ² 建築面積 1,331.53 m ² 敷地面積 5,905.49 m ² 重要有形民俗文化財収蔵庫：延床面積 174.95 m ²	
収蔵資料	考古・歴史・民俗・美術・民芸その他の分野にわたり約11万点の資料を収蔵し、コ レクションとして国指定重要有形民俗文化財のコレクションの他に「胡桃沢コレク ション」、「奥村コレクション」などがあります。 重要文化財に指定された物件（昭和34年12月18日指定） 孔雀文磬 1面 重要有形民俗文化財に指定された物件 七夕人形コレクション 45点（昭和30年4月22日指定）	

民間信仰資料コレクション 293点(昭和34年5月6日指定)

農耕用具コレクション 79点(昭和34年5月6日指定)

博物館活動

ア 常設展 地階の松本市域の歴史(原始～中世) 1階の松本市域の歴史(近世～現代)・民俗(七夕人形など)の2部門の展示構成です。2階は特別展・企画展の会場としています。

イ 特別展・企画展

展 覧 会 名	会 期
市制施行記念展「風景の記録～市制施行記念の頃～」	平成28年4月28日(木) ～5月27日(金)
企画展「日本造園学会学生コンペ展」	6月6日(月)～6月26日(日)
特別展「山岳画家・武井真澂 先行公開展」	7月15日(金)～9月4日(日)
第6回戦争と平和展 「戦争の記憶と記録から平和を考える」	8月6日(土)～9月25日(日)
子規忌展「胡桃沢コレクション新規収蔵資料展示」	9月10日(土)～9月25日(日)
松平直政没後350年パネル展「松本と松江をつなぐお殿様」	10月1日(土)～12月18日(日)
新春特別展「松本ゆかりの武器・武具 新収蔵資料を中心に」	平成29年1月3日(火) ～2月19日(日)
企画展「松本の春、見つけた2017 月遅れのひな祭り展」	3月1日(水)～4月9日(日)
開館110周年記念「博物館転々物語 総集編」	3月4日(土)～4月9日(日)

ウ 講演会・講座など

(ア) 講演会

演 題	講 師	月 日
第7回 復活話をきく会 「胡桃沢勘内の郷土教育論 - 郷土科と『郷土学習帳』 -」	伊藤 純郎氏 (筑波大学人文社会系教授)	平成28年9月17日(土)
松本藩領ミュージアム講演会 「筑北地域の餅なし正月」	山崎 洋文氏 (刈谷沢神明宮宮司)	平成29年3月18日(土)

(イ) 市民学芸員の会

市民学芸員養成講座の修了生70人を対象に、平成24年度に市民学芸員の会を組織しました。会員は、展示解説・体験学習・調査展示・その他の4部門に登録し、松本市立博物館・重要文化財旧開智学校校舎・松本市立考古博物館・松本市歴史の里で博物館事業に参加しました。

(ウ) 学都松本・博物館「勸館楽学」対談

平成 22 年度から始まった事業で、博物館職員が市民とまちづくり、ひとづくりについて対談します。平成 28 年度は 4 回開催しました。

(I) 博物館実習

受入大学 2 大学 受入人数 4 人

(オ) 職員の派遣

依頼に応じて、大学・公民館・各種研究団体主催学習への職員を講師として派遣しました。

(カ) その他

No.	内 容	月 日
1	月遅れの雛祭り 甘酒サービス	平成 28 年 4 月 3 日(日)
2	市制施行記念無料開放	5 月 1 日(日)
3	月遅れの七夕 ほうとうサービス	8 月 7 日(日)
4	子規忌	9 月 19 日(月)
5	松本市博物館の日	9 月 21 日(水)
6	冬至かぼちゃサービス	12 月 20 日(火)
7	小正月まゆ玉サービス	平成 29 年 1 月 14 日(土)

松本まるごと博物館構想

高齢化、国際化、高度情報化、学習の多様化といった社会状況の変化を背景に、新たな博物館像を目指して、平成 12 年に松本まるごと博物館構想を策定しました。

この構想は、博物館が収蔵資料に限らず、市域に点在する歴史・文化遺産、自然環境も貴重な宝として捉える視点を示したものです。以後、市域全体を活動範囲として、「屋根のない博物館」をキヤッチフレーズに事業を展開しています。

また、構想に基づいて友の会の設立や市民学芸員制度を導入し、博物館の枠を越えて地域で活動する人材も養成し市民協働を進めてきました。

松本市基幹博物館整備事業

平成 28 年 6 月の市議会議員協議会で、松本市大手門駐車場敷地を基幹博物館の建設予定地とし、施設規模(延床面積)を 7,000 m²~8,000 m²とすることが了承されました。9 月には、有識者をはじめ、商業・観光・市民活動関係者で構成する「松本市基幹博物館施設構想策定委員会」を翌年 3 月までに計 5 回開催し、施設構想及び建設計画を策定しました。

平成 29 年度は、公募型プロポーザル方式による設計業者の選定をはじめ、建設予定地の用地取得や各種調査などの事務事業に着手します。

観覧者数 26 年度 658,174 人 27 年度 735,496 人 28 年度 745,186 人

観覧料 (松本城との共通券)

個人 大人 610 円 小中学生 300 円

団体 大人 550 円 小中学生 270 円

(団体扱いは 20 人以上、100 人以上は 2 割引、300 人以上は 3 割引)

分館

ア 重要文化財旧開智学校校舎

(ア) 所在地 〒390-0876 松本市開智 2-4-12

(イ) 構造・規模 木造 2 階建 檼瓦葺(寄棟大壁造、中央部八角塔付)管理事務所
延床面積 1,283.58 m²

重要文化財に指定された物件（昭和 36 年 3 月 23 日指定）

旧開智学校校舎 1 棟

附（つきたり）指定

建築関係資料 27 冊 図面 1 枚

- (ウ) 収蔵資料 江戸末期から現代までの教育資料、建築資料等約 11 万点
(エ) 常設展 教育関係資料及び建築関係資料約 150 点を展示しています。
(オ) 主催展 戦争と平和展「戦時下の開智学校～子どもの日記からみる戦争～」/校舎創建 140 周年記念特別展「旧開智学校校舎の魅力」
(カ) 観覧者数 26 年度 94,746 人 27 年度 102,845 人 28 年度 97,815 人
(キ) 観覧料 個人 大人 300 円 小中学生 150 円
団体 大人 250 円 小中学生 100 円
(団体扱いは 20 人以上)

イ 松本民芸館

- (ア) 所在地 〒390-0221 松本市里山辺下金井 1313-1
(イ) 構造・規模 木造 2 階建瓦葺モルタル塗り 土蔵造 2 棟 収蔵庫 延床面積 432.82 m²
(ウ) 収蔵資料 人々の生活の中で生まれた民芸品約 6,800 点
(エ) 常設展 約 1,000 点を展示しています。
(オ) 主催展 工芸の五月参加企画展「バーナード・リーチと信州の民芸」/企画展「やむちんの里 沖縄の民芸」/企画展「木と漆 むくもりの手仕事」
(カ) 観覧者数 26 年度 13,405 人 27 年度 12,475 人 28 年度 11,802 人
(キ) 観覧料 個人 大人 300 円（小中学生は無料）
団体 大人 200 円（団体扱いは 20 人以上）

ウ 松本市考古博物館

- (ア) 所在地 〒390-0823 松本市中山 3738-1
(イ) 構造・規模 鉄筋コンクリート造 2 階建 延床面積 1,036.58 m²
(ウ) 収蔵資料 埋蔵文化財発掘調査によって出土した考古資料約 35,000 点
(エ) 常設展 縄文から平安時代の考古資料約 1,800 点を展示しています。
(オ) 主催展 開館 30 周年記念特別展「松本考古学の原点～中山地区の遺跡～」/秋季企画展「よみがえる松本城下町」/速報展「発掘された松本 2016」
(カ) 観覧者数 26 年度 4,772 人 27 年度 5,249 人 28 年度 5,718 人
(キ) 観覧料 個人 大人 200 円（小中学生は無料）
団体 大人 150 円（団体扱いは 20 人以上）

エ 松本市はかり資料館

- (ア) 所在地 〒390-0811 松本市中央 3-4-21
(イ) 構造・規模 木造 2 階建瓦葺 3 棟 土蔵造 延床面積 330.80 m²
(ウ) 収蔵資料 近世から現代に至るはかりの資料約 1,300 点
(エ) 常設展 「測る」「計る」「量る」道具と、その関連資料を約 180 点展示しています。
(オ) 主催展 工芸の五月参加企画展「中町と民芸」/企画展「今昔はかり展」/「町屋で楽しむ七夕」/企画展「中町今昔物語」/「町屋で楽しむひな祭り」
(カ) 観覧者数 26 年度 16,807 人 27 年度 16,402 人 28 年度 14,376 人

- (キ) 観覧料 個人 大人 200円(小中学生は無料)
 団体 大人 150円(団体扱いは20人以上)

才 松本市旧司祭館

- (ア) 所在地 〒390-0876 松本市開智 2-6-24
 (イ) 構造・規模 木造2階建 延床面積 202.73㎡
 県宝に指定された物件(平成17年3月28日指定)
 松本市旧司祭館 1棟
 (ウ) 観覧料 無料

カ 旧制高等学校記念館

- (ア) 所在地 〒390-0812 松本市県 3-1-1
 (イ) 構造・規模 鉄筋コンクリート造3階建 延床面積 1,190.48㎡
 (ウ) 収蔵資料 全国の旧制高等学校及び松本高等学校の資料、図書を含め約18,000点
 (エ) 常設展 約1,100点を展示しています。
 (オ) 主催展 第53回あがた美術会作品展/企画展「バンカラ目線で松本歩き」/企画展「旧制高校と出版芸術」/企画展「松高生の青春日記展4 自治こそ寮の誇りなり」
 (カ) 観覧者数 26年度 9,632人 27年度 10,110人 28年度 10,015人
 (キ) 観覧料 個人 大人 300円(小中学生は無料)
 団体 大人 200円(団体扱いは20人以上)

キ 窪田空穂記念館

- (ア) 所在地 〒390-1242 松本市和田 1715-1
 (イ) 構造・規模 木造の一部2階建 空穂生家 生家離れ 収蔵庫 記念館 延床面積 752.94㎡
 (ウ) 収蔵資料 窪田空穂の著書、原稿など約5,000点
 (エ) 常設展 窪田空穂の作品や遺愛品、短歌に関する資料約300点を展示しています。
 (オ) 主催展 「まつもとの七夕2016」/戦争と平和展「茂二郎を奪ったシベリア抑留」/企画展「老いてなお輝く 空穂翁のメッセージ」/作品展「松本の子どもの短歌・2016」
 (カ) 観覧者数 26年度 2,873人 27年度 2,720人 28年度 2,447人
 (キ) 観覧料 個人 大人 300円(小中学生は無料)
 団体 大人 200円(団体扱いは20人以上)

ク 重要文化財馬場家住宅

- (ア) 所在地 〒390-0023 松本市内田 357-6
 (イ) 構造・規模 延床面積 550.36㎡(松本市所有分)212.80㎡(個人所有分)
 重要文化財に指定された物件及び土地(平成8年12月10日指定)建造物
 6棟 主屋・表門及び左右長屋・中門・文庫蔵 4棟(松本市所有) 隠居屋・
 奥蔵 2棟(個人所有)
 土地面積 12,297.24㎡(5,221.45㎡(松本市所有分)
 7,075.79㎡(個人所有))
 附(つきたり)指定
 茶室・旧小屋部材1点・銘札1枚・祈祷札2枚

(ウ) 主催展 「古民家で楽しむひな祭り」/企画展「松本押絵雛による端午の節句」/「古民家で楽しむ七夕さま」/企画展「横内勝司写真展 - 暮らしの情景 - 」/企画展「松本平の御柱」

(I) 観覧者数 26年度 6,719人 27年度 7,247人 28年度 6,768人

(オ) 観覧料 個人 大人 300円(小中学生は無料)
団体 大人 200円(団体扱いは20人以上)

ケ 松本市歴史の里

(ア) 所在地 〒390-0852 松本市島立 2196-1

(イ) 構造・規模 県宝旧長野地方裁判所松本支部庁舎 715.47 m²(以下延床面積)
松本市重要文化財 工女宿宝来屋 263.69 m²
旧昭和興業製糸場 175.55 m²(ボイラー建屋を除く)
木下尚江生家 124.21 m²
旧松本少年刑務所独居舎房 207.02 m²
展示・休憩棟 395.10 m²
管理・トイレ棟 223.8 m²

県宝に指定された物件

旧長野地方裁判所松本支部庁舎(昭和60年11月21日指定)

正門、レンガ塀及び掲示板(平成23年3月28日指定)

(ウ) 収蔵資料 司法関係資料など約13,000点

(I) 常設展 生活用具や家具などにより、歴史的な建物内部の情景を再現しています。

(オ) 主催展 企画展「歴史の里コレクション展」/企画展「工女宿宝来屋と野麦街道」
戦争と平和展「山本茂実と戦争」/パネル展「たてものでめぐる松本の街道」
/写真展「歴史の里ってどんなところ？」

(カ) 観覧者数 26年度 9,308人 27年度 10,936人 28年度 8,031人

(キ) 観覧料 個人 大人 400円(小中学生は無料)
団体 大人 300円(団体扱いは20人以上)

コ 松本市時計博物館

(ア) 所在地 〒390-0811 松本市中央 1-21-15

(イ) 構造・規模 鉄筋コンクリート造4階建 延床面積 1,046.37 m²

(ウ) 収蔵資料 16世紀から20世紀初頭の古時計約300点、時計関係資料約250点、その他蓄音機、SPレコード盤

(I) 常設展 本田コレクションを中心とした古時計を動態展示しています。

(オ) 主催展 時の記念日企画展「時計博物館 収蔵品展2016」/夏期特別展「鐘の音色と歯車の美」/共催企画展「江戸文学の世界」/あめ市歴史展示
移りゆくあめ市」

(カ) 観覧者数 26年度 26,828人 27年度 26,115人 28年度 26,750人

(キ) 観覧料 個人 大人 300円 小中学生 150円
団体 大人 250円 小中学生 100円
(団体扱いは20人以上)

サ 松本市山と自然博物館

(ア) 所在地 〒390-0861 松本市蟻ヶ崎 2455-1

- (イ) 構造・規模 鉄筋コンクリート2階建塔屋5階地下1階
延床面積 2,175.41 m²(市 993.01 m²、国 743.81 m²、供用 438.59 m²)
- (ウ) 収蔵資料 自然及び登山関係資料約30,000点
- (エ) 常設展 身近な自然資料、登山関係資料約850点を展示しています。
- (オ) 主催展 特別展「まつもとの名山1～美ヶ原の自然と歴史～」/企画展「アルプス公園秋冬コレクション 木の実と冬芽」/企画展「ボタニカルアート展 植物の美しさ」
- (カ) 観覧者数 26年度 33,071人 27年度 30,063人 28年度 32,385人
- (キ) 観覧料 個人 大人 300円(小中学生は無料)
団体 大人 200円(団体扱いは20人以上)

シ 松本市高橋家住宅

- (ア) 所在地 〒390-0876 松本市開智2-9-10
- (イ) 構造・規模 木造平屋
延床面積 118.56 m²
- (ウ) 観覧者数 26年度 2,827人 27年度 3,393人 28年度 3,181人
- (エ) 観覧料 無料

ス 松本市四賀化石館

- (ア) 所在地 〒399-7416 松本市七嵐85-1
- (イ) 構造・規模 鉄筋コンクリート造2階建 延床面積 630.52 m²
- (ウ) 収蔵資料 県天然記念物に指定された物件/反町のマッコウクジラ全身骨格化石(シガマッコウクジラ)平成17年3月28日指定、シナノトド化石(アロデスムス)
昭和60年11月21日指定
松本市特別天然記念物に指定された物件/大型鱗脚類の陰莖骨化石、アロデスムス頭骨の化石平成28年3月23日指定/他、約1,000点
- (エ) 常設展 1階はシガマッコウクジラ・シナノトドの化石ほか四賀地区中心に新生代の化石と地層を展示。2階は、古生代・中生代の化石と鉱物標本、希少動物の剥製を展示しています。
- (オ) 主催展 夏期特別展「まつもとの深海～シロウリガイ類の秘密」
- (カ) 観覧者数 26年度 7,176人 27年度 7,368人 28年度 7,210人
- (キ) 観覧料 個人 大人 300円 小中学生 150円
団体 大人 200円 小中学生 100円
(団体扱いは20人以上)

セ 松本市安曇資料館

- (ア) 所在地 〒390-1520 松本市安曇3480-2
- (イ) 構造・規模 鉄骨造2階建(地上2階、地下1階) 延床面積 591.48 m²
- (ウ) 常設展 安曇地区に関係の深い歴史、民俗資料を中心に展示しています。
- (エ) 観覧者数 26年度 1,658人 27年度 1,413人 28年度 1,271人
- (オ) 観覧料 無料